



平成 17 年 11 月 17 日

各 位

会 社 名 澁澤倉庫株式会社  
 代表者名 取締役社長 犬塚 静衛  
 (コード番号 9304 東証第1部)  
 問合せ先 取締役管理本部経理部長  
 下岡 隆  
 ( (03)3660-4119 )

(訂正)平成 18 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況(連結)の一部訂正について

平成 17 年 8 月 12 日に開示いたしました第 1 四半期財務・業績の概況(連結)につき、一部誤りがありましたので、下記の通り訂正いたします。なお、訂正箇所には下線が付してあります。

## 記

(1) 1 ページ

2. 18 年 3 月期第 1 四半期の業績概況(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日)

## 【修正前】

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (百万円未満切捨)

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	<u>3,579</u>	-	<u>47.06</u>	-

(注) 当第 1 四半期の四半期純利益が 3,579 百万円の損失となりましたのは、「固定資産の減損に係る会計基準」による減損損失 4,071 百万円を特別損失として計上したためであります。

## 【修正後】

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (百万円未満切捨)

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	<u>3,440</u>	-	<u>45.23</u>	-

(注) 当第 1 四半期の四半期純利益が 3,440 百万円の損失となりましたのは、「固定資産の減損に係る会計基準」による減損損失 3,823 百万円を特別損失として計上したためであります。

## 【修正前】

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	<u>92,645</u>	<u>29,809</u>	<u>32.2</u>	<u>391.91</u>

## 【修正後】

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	<u>92,784</u>	<u>29,948</u>	<u>32.3</u>	<u>393.74</u>

**経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等**

**1. 全般の概況**

**【修正前】**

この結果、当第1四半期の連結経営成績は、営業収益は136億2千3百万円と前年同期比4.5%の増収となりました。また、営業費用の面で「澁澤シティプレイス永代」の開業に係る一時費用が解消したこともあり、営業利益は5億9千4百万円と前年同期比40.7%の増益、経常利益は6億8千2百万円と前年同期比51.2%の増益となりました。しかしながら、四半期純損益につきましては、当第1四半期より適用した「固定資産の減損に係る会計基準」による減損損失 40億7千1百万円を特別損失に計上した結果、35億7千9百万円の損失となりました。

**【修正後】**

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善を受け民間設備投資が緩やかに増加を続け個人消費も底堅く推移するなど、景気は回復基調にありましたが、輸出の減速や原油価格の高騰など事業環境は不透明な状況で推移しました。

（中略）

この結果、当第1四半期の連結経営成績は、営業収益は136億2千3百万円と前年同期比4.5%の増収となりました。また、営業費用の面で「澁澤シティプレイス永代」の開業に係る一時費用が解消したこともあり、営業利益は5億9千4百万円と前年同期比40.7%の増益、経常利益は6億8千2百万円と前年同期比51.2%の増益となりました。しかしながら、四半期純損益につきましては、当第1四半期より適用した「固定資産の減損に係る会計基準」による減損損失 38億2千3百万円を特別損失に計上した結果、34億4千万円の損失となりました。

## 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

### 1. 全般の概況

#### 【修正前】

当第1四半期末の総資産は、主として「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴う減損処理の実施により有形固定資産が減少したため、前期末比 46億5千万円減の926億4千5百万円 となりました。

また当第1四半期末の株主資本は、主として「固定資産の減損に係る会計基準」による減損処理により四半期純損失が計上され、利益剰余金が減少したため、前期末比 38億6千6百万円減の298億9百万円 となりました。

#### 【修正後】

当第1四半期末の総資産は、主として「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴う減損処理の実施により有形固定資産が減少したため、前期末比 45億1千1百万円減の927億8千4百万円 となりました。

また当第1四半期末の株主資本は、主として「固定資産の減損に係る会計基準」による減損処理により四半期純損失が計上され、利益剰余金が減少したため、前期末比 37億2千6百万円減の299億4千8百万円 となりました。

### 2. 連結キャッシュ・フローの状況

#### 【修正前】

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が 33億8千8百万円 となり、これは主として資金の支出をとみなわない減損損失によるものでしたが、役員退職慰労金のほか、賞与、長期預り金等その他の支払等がありましたので、1千1百万円の減少となりました。

#### 【修正後】

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が 31億4千万円 となり、これは主として資金の支出をとみなわない減損損失によるものでしたが、役員退職慰労金のほか、賞与、長期預り金等その他の支払等がありましたので、1千1百万円の減少となりました。

## 1. 連結貸借対照表

単位：百万円(百万円未満切捨)

期 別 科 目	【修正前】			【修正後】		
	当 第 1 四 半 期 (17.6.30現在)		前 期 比 増 減	当 第 1 四 半 期 (17.6.30現在)		前 期 比 増 減
	金 額	構 成 比	金 額	金 額	構 成 比	金 額
【 資 産 の 部 】		%			%	
流 動 資 産	[ 27,323 ]	29.5	[ 1,340 ]	[ 27,323 ]	29.4	[ 1,340 ]
現金及び預金	8,279		747	8,279		747
受取手形及び取引先未収金	10,291		297	10,291		297
有 価 証 券	6,052		1,017	6,052		1,017
立 替 金	1,037		268	1,037		268
繰延税金資産	751		238	751		238
そ の 他	964		88	964		88
貸倒引当金	53		8	53		8
固 定 資 産	[ 65,321 ]	70.5	[ 3,310 ]	[ 65,461 ]	70.6	[ 3,171 ]
有形固定資産	( 47,887 )	(51.7)	( 4,251 )	( 48,135 )	(51.9)	( 4,003 )
建物及び構築物	25,823		1,186	25,823		1,186
機械装置及び運搬具	1,763		19	1,763		19
土 地	18,623		1,483	18,871		1,235
コ ー ス	795		1,607	795		1,607
建設仮勘定	551		12	551		12
そ の 他	330		18	330		18
無形固定資産	( 1,075 )	(1.2)	( 13 )	( 1,075 )	(1.2)	( 13 )
借 地 権	585			585		
そ の 他	490		13	490		13
投資その他の資産	( 16,358 )	(17.6)	( 954 )	( 16,249 )	(17.5)	( 845 )
投資有価証券	13,122		961	13,122		961
長期貸付金	723		8	723		8
差入保証金	1,154		8	1,154		8
繰延税金資産	454		2	345		111
そ の 他	1,106		6	1,106		6
貸倒引当金	202		1	202		1
資 産 合 計	92,645	100.0	4,650	92,784	100.0	4,511

期 別 科 目	【修正前】			【修正後】		
	当 第 1 四 半 期 (17. 6 .30現在)		前 期 比 増 減	当 第 1 四 半 期 (17. 6 .30現在)		前 期 比 増 減
	金 額	構 成 比	金 額	金 額	構 成 比	金 額
【 負 債 の 部 】		%			%	
流 動 負 債	[ 18,787 ]	<u>20.3</u>	[ 364 ]	[ 18,787 ]	<u>20.2</u>	[ 364 ]
支払手形及び営業未払金	6,548		197	6,548		197
短 期 借 入 金	8,719		257	8,719		257
1 年 以 内 償 還 社 債						
預 り 金	1,194		349	1,194		349
未 払 法 人 税 等	68		124	68		124
賞 与 引 当 金	319		226	319		226
そ の 他	1,937		305	1,937		305
固 定 負 債	[ 43,622 ]	<u>47.1</u>	[ 1,032 ]	[ 43,622 ]	<u>47.0</u>	[ 1,032 ]
社 債	7,000			7,000		
長 期 借 入 金	22,078		690	22,078		690
長 期 預 り 金	10,819		197	10,819		197
繰 延 税 金 負 債	1,000		22	1,000		22
退 職 給 付 引 当 金	2,525		11	2,525		11
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	198		133	198		133
負 債 合 計	62,409	<u>67.4</u>	668	62,409	<u>67.2</u>	668
【 少 数 株 主 持 分 】						
少 数 株 主 持 分	426	<u>0.4</u>	116	426	<u>0.5</u>	116
【 資 本 の 部 】						
資 本 金	7,847	8.5		7,847	8.5	
資 本 剰 余 金	5,663	6.1		5,663	6.1	
利 益 剰 余 金	<u>13,593</u>	<u>14.7</u>	<u>3,833</u>	<u>13,732</u>	<u>14.8</u>	<u>3,694</u>
その他有価証券評価差額金	2,769	3.0	36	2,769	3.0	36
為 替 換 算 調 整 勘 定	56	0.1	4	56	0.1	4
自 己 株 式	6	0.0	0	6	0.0	0
資 本 合 計	<u>29,809</u>	<u>32.2</u>	<u>3,866</u>	<u>29,948</u>	<u>32.3</u>	<u>3,726</u>
負債、少数株主持分及び資本合計	<u>92,645</u>	100.0	<u>4,650</u>	<u>92,784</u>	100.0	<u>4,511</u>

(6) 6 ページ

## 2. 連結損益計算書

単位：百万円(百万円未満切捨)

科 目	【修正前】			【修正後】		
	当 第 1 四 半 期 (17.4.1 ~ 17.6.30)		増 減	当 第 1 四 半 期 (17.4.1 ~ 17.6.30)		増 減
	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比	金 額
特 別 損 失	( 4,071 )	29.9	( 4,042 )	( 3,823 )	28.1	( 3,794 )
減 損 損 失	4,071		4,071	3,823		3,823
固 定 資 産 処 分 損						
訴 訟 和 解 金						
投 資 有 価 証 券 売 却 損			29			29
そ の 他						
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は税金等調整前四半期純損失( )	3,388	24.9	3,869	3,140	23.1	3,621
法人税、住民税及び事業税	288	2.1	87	397	2.9	196
過年度法人税等還付金						
法人税等調整額						
少数株主利益			32			32
少数株主損失	97	0.7	97	97	0.7	97
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失( )	3,579	26.3	3,826	3,440	25.3	3,687

(7) 7 ページ

## 3. 連結剰余金計算書

単位：百万円(百万円未満切捨)

科 目	【修正前】		【修正後】	
	当 第 1 四 半 期 (17.4.1 ~ 17.6.30)		当 第 1 四 半 期 (17.4.1 ~ 17.6.30)	
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		17,426		17,426
利益剰余金増加高				
四半期(当期)純利益				
利益剰余金減少高		3,833		3,694
四半期純損失	3,579		3,440	
配 当 金	228		228	
役 員 賞 与	26		26	
(うち監査役賞与)	( 1 )		( 1 )	
利益剰余金期末残高		13,593		13,732

(8) 8 ページ

4 . 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円(百万円未満切捨)

	【修正前】	【修正後】
科 目	当 第 1 四 半 期 (17.4.1 ~ 17.6.30)	当 第 1 四 半 期 (17.4.1 ~ 17.6.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は税金等調整前四半期純損失( )	3,388	3,140
減価償却費	610	610
減損損失	4,071	3,823

## 注記事項

(連結損益計算書関係)

## 1. 減損損失

## 【修正前】

場 所	用 途	種 類	減損損失 (百万円)
横浜市鶴見区	物流施設	建物	434
新潟県新潟市	物流施設	建物、土地	327
福岡県粕屋郡新宮町	物流施設	建物、土地	543
埼玉県深谷市	賃貸用土地	土地	491
埼玉県入間郡毛呂山町	ゴルフ場施設	建物、構築物、 コース、土地	2,274

(中略)

上記の資産グループについては、著しい地価の下落や営業活動による収益性の低下等が認められ、将来キャッシュ・フローによって当資産グループの帳簿価額を全額回収できる可能性が低いと判断し、当該資産グループに係る資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額 4,071 百万円 を減損損失として特別損失に計上しました。

減損損失の勘定科目別内訳は、建物 914 百万円、構築物 66 百万円、コース 1,607 百万円及び土地 1,483 百万円 であります。

## 【修正後】

場 所	用 途	種 類	減損損失 (百万円)
横浜市鶴見区	物流施設	建物	434
新潟県新潟市	物流施設	建物、土地	327
福岡県粕屋郡新宮町	物流施設	建物、土地	543
埼玉県深谷市	賃貸用土地	土地	243
埼玉県入間郡毛呂山町	ゴルフ場施設	建物、構築物、 コース、土地	2,274

当社グループは、事業所別の管理会計上の区分及び投資の意思決定を行なう際の単位を、概ね独立してキャッシュ・フローを生み出す最小単位として捉え、資産のグルーピングを行っております。

上記の資産グループについては、著しい地価の下落や営業活動による収益性の低下等が認められ、将来キャッシュ・フローによって当資産グループの帳簿価額を全額回収できる可能性が低いと判断し、当該資産グループに係る資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額 3,823 百万円 を減損損失として特別損失に計上しました。

減損損失の勘定科目別内訳は、建物 914 百万円、構築物 66 百万円、コース 1,607 百万円及び土地 1,235 百万円 であります。

なお、当資産グループの回収可能価額は、物流施設及び賃貸用土地については不動産鑑定士による鑑定評価額に基づく正味売却価額により測定しており、ゴルフ場施設については使用価値により測定し、将来キャッシュ・フローを 2.0% で割引いて算定しております。

以 上